

国語3年 文法プリント問題 「用言の活用」①

問一 次の説明の()に当てはまる言葉を、後から選んで入れなさい。

後に続く言葉によって動詞などの形が変化することを()といい、変化したそれぞれの形を()という。

語の形が変わる部分を()といい、変わらない部分を()という。

活用する() ()である動詞・形容詞・形容動詞を、まとめて()という。

自立語	活用	用言	活用形	語幹	活用語尾
-----	----	----	-----	----	------

問二 次のそれぞれの文が説明している活用形を、後から選び、記号で答えなさい。

- 1 後に体言が続くときの形。
- 2 後に別の用言や「た」「て」などが続くときの形。
- 3 命令して言い切るときの形。
- 4 まだ動作や状態が実現していないことを表す形。
- 5 言い切るときの形。
- 6 「もし……ならば」というときの形。

ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問三 次の()に当てはまるように、動詞「行く」を活用させて書きなさい。また、そのときの活用形を後から選び、記号で答えなさい。

- 1 分かりました。急いで()ますね。
- 2 彼女は、そんな所へは()ないよ。
- 3 次に()ときが、楽しみだ。
- 4 ()と言われれば、行きますけど。
- 5 僕は今日も、練習場へ()。
- 6 あのと、()ばよかった。

ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問四 次の動詞の活用の種類を、後から選んで記号で答えなさい。

- 1 走る 2 来る 3 得る 4 知る
 - 5 勉強する 6 着る 7 見る
- ア 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用
エ カ行変格活用 オ サ行変格活用

問五 次の文章の空欄A、B、Cに当てはまる語句を、後から選んで記号で答えなさい。

動詞の音便とは、五段活用の動詞の(A)形が「た」「て」「たり」に続くときに、音が変化すること、三つの種類がある。例えば、「書いた」は、動詞「書く」の(A)形である。「書き」が「た」に付く際、発音しやすいようにと変化したイ音便である。また「立った」は、「立つ」の(A)形の「立ち」が変化した(B)、「読んだ」は、「読む」の(A)形の「読み」が変化した(C)である。

ア 連体 イ 促音便 ウ 連用 エ 撥音便 オ 未然